

第 13 編 照 查

第13編 照 査 目 次

1. 目的	13-1
2. 構成	13-1
3. 留意事項	13-1
4. 関係機関協議	13-3
5. 照査フローチャート	13-4
6. 照査一覧表	13-5

第13編 照査

1. 目的

(1) 成果品の品質向上

社会資本整備を推進するうえで、建設コンサルタント業務の成果は、最も基礎的で重要な要素であり、その精粗が事業の完成に重大な影響を与えることになる。成果品の品質向上を図り、正確性を確保するために、受注者が、本照査要領を活用することにより設計の主要事項を系統的に把握するとともに、迅速な照査が可能となる。

(2) 基本的事項の統一による照査の効率化

本照査要領は、『詳細設計照査要領（建設省大臣官房技術調査室監修平成11年3月）』を基本としたものであり、国土交通省では全国統一的に義務付けられているものである。愛知県においてもこれを基に、基本事項の統一により照査の効率化を図る。

本書で掲載する設計内容は、『詳細設計照査要領（建設省大臣官房技術調査室監修平成11年3月）』に掲載されている下記の④⑤⑦を基本としつつ、各地の建設コンサルタント協会により発行されているものから①②③⑥を加えたものである。

- ①道路概略設計
- ②道路予備設計(A)
- ③道路予備設計(B)
- ④道路詳細設計（函渠工，擁壁工を含む）
- ⑤平面交差点詳細設計
- ⑥立体交差点予備設計
- ⑦山岳トンネル詳細設計

2. 構成

本要領の構成は、以下に示す内容で構成している。

(1) 照査フローチャート

設計業務の着手から完了までの流れについて、照査の観点から整理したものである。受注者が実施する主要な区切りと発注者・受注者双方の照査との関連を明示したものである。各設計ともに照査は同一の流れである。

(2) 照査項目一覧表

照査フローチャートに従って、設計の主要な区切り毎に受注者が実施すべき基本的照査項目を一覧表に整理したものである。作成は、基本条件の照査（照査①）、細部条件の照査（照査②）、成果品の照査（照査③）の主要な区切りの3段階毎に行うものとし、作成の手順は以下のとおりとする。

- ① 業務内容から判断して該当対象項目を抽出し、「該当対象欄」に○印を付す。
- ② 照査を完了した項目について「確認欄」に○印及び日付を記入し、「備考欄」に照査で確認した当該業務での検討・設計結果の内容を記入する。
- ③ 照査技術者及び管理技術者が確認する。
- ④ 発注者に提出し、照査状況の報告を行う。

3. 留意事項

- (1) 本照査要領は、設計の自由度を尊重するため、設計マニュアル的なものでなく、設計の基本に関する事項を体系的に記載し、各事項に対応する照査の完了を一目で把握できるものとしている。従って、照査手段、基準等との関連をはじめとする具体の照査内容については受注者側の判断によるものとする。
- (2) 照査要領に記載した照査項目は標準的な設計の基本事項である。各業務の業務内容、規模、重要度、特性に

応じて、適宜照査項目を追加することとする。

- (3) 各照査段階において、照査内容が未定であったり、一度で確認が済まない場合や条件決定が順不同と、確認が済んだ事項に○印と日付を記入し、未確認項目が明確になるようにするものとする。
- (4) 愛知県発注の業務においては、照査報告書に本照査要領に基づき作成した資料を添付するものとする。
- (5) **6. 照査一覧表** に発注者側においても特に留意すべき項目をゴシック体太文字で表記した。ここでは、設計の内容に関わらず、代表的な項目の例を表に記載したので、常に念頭において業務を進めるとよい。また、手引きの代表的な関連箇所を【 】で表記した。

表 3.1 発注者側においても留意すべき事項の例

項目	主な内容
設計の目的、主旨	事業の目的、主旨、効果を把握した上で最適な設計か。
	機能（事業の目的と合致、渋滞対策、線形改良等）と工費のバランスがとれているか。
設計条件	道路の機能（位置づけ、性格付け）を確認したか。
	計画交通量、道路規格、設計速度、幅員構成を確認したか。
	コントロールポイントとすべき物件を確認したか。
	設計の起終点は明確になっているか。前後区間との整合は図れているか。
	関連する事業や計画と整合がとれているか。（道路、河川、鉄道、他自治体、占有者事業、民間開発等）
	支障物件（地下埋設物、電柱、信号等）の状況を把握したか。
	貸与資料の不足、追加事項があるか。
現地立ち入りの留意事項を確認したか。（地権者との交渉状況等）	
幾何構造・線形条件	設計条件を確認したか。
	平面線形、縦断線形、幅員構成は、道路構造令はもちろん、安全性、円滑性等を確保しているか。【第2編】
	幅員変化には無理がないか。【第6編11】
路線計画	適切な比較代替案の設定及び最適な路線選定が明確な理由付けとともにできているか。
	交差道路、河川、鉄道等との交差は適切か。
	重要構造物（橋梁、トンネル、擁壁、函渠等）の計画（構造物間の取り合い、配置、設計思想の統一等）は適切か。【第5編、第8編、第10編】
用排水工計画	排水条件の確認を行ったか。（水路管理者条件、流量計算等）【第5編第1章排水】
	用排水系統、流末は確認したか。（水路管理者、流量計算等）【第5編第1章排水】
函渠工	設計方法は適正か。（慣用設計法の適用範囲の確認）【第5編第2章】
	慣用設計法適用範囲外の場合に必要な地質データは取得したか。【第5編第2章2～3】
	内空断面、平面形状、縦断勾配の設定は適正か。【第5編第2章4、6】
擁壁工	擁壁の工種選定は適切か。【第8編第4章1～3】
トンネル	内空断面は安定性、経済性を総合的に考慮したか。【第10編3.2】
	坑門工位置・形式、掘削方式、換気方式は適正か。【第10編】
施工計画	工事完了日から逆算した工程表を作成の上、クリティカルポイントを明確にしたか。
	工区分けは適切か。施工に必要な暫定施工、段階施工の漏れがなく、考え方は適切か。
	施工性に問題はないか。施工時の道路、河川等の切り廻し計画は適正か。
	必要な資機材を配置した施工計画になっているか。
環境	環境影響評価書またはその他環境調査の有無が確認されているか。
	沿道の自然環境条件、生活環境を現地または要望等から確認したか。
協議関連資料	法規制について確認したか。【第13編4】
	道路、河川、鉄道等の交差協議は実施したか。また協議結果が反映されているか。
	公安協議は実施したか。また協議結果が反映されているか。
	土捨場（搬出先事業者含む）、または土取場（搬入元事業者含む）との調整、位置・規模は確認したか。
	地下占有企業者、電柱・信号管理者、地元市町村、その他公共施設管理者との協議は実施したか。また協議結果が反映されているか。

4. 関係機関協議

設計照査を行うポイントのひとつとして、関係機関協議がある。以下に、道路設計において一般的に生じる関係機関協議を整理する。計画、設計、施工の各段階において適切に協議を進め、円滑な事業推進を図ることが望ましい。

(1) 道路協議

当該設計区間の道路に交差、接続する道路等に関する、国土交通省、市町村自治体等の道路管理者との協議

(2) 交差物件との協議

河川、用排水、鉄道、上下水道、高圧電線など、当該道路に交差する物件の管理者との協議

(3) 公安委員会との協議

道路、交差点等の新設・改良にあたっての、公安委員会との協議（道路法 95 条の 2 協議）

(4) 占用物・埋設物との協議

上水道、下水道、電力線、通信線（NTT、有線、ケーブルテレビ）、ガス、警察管路、電柱、バス停施設などの道路占用物・埋設物に関する各占用者との協議

(5) 周辺法規制関係

当該道路の通過地域によっては、各種法律・県条例による規制等が指定されている場合があり、必要に応じ申請協議が必要となる。参考として、表 4.1 にその代表的な法規制等を示す。個別の法規制の区域については、担当課及び所定の図面等で確認を行うものとする。ただし、担当課は組織改正等で変更の場合があるので注意すること。

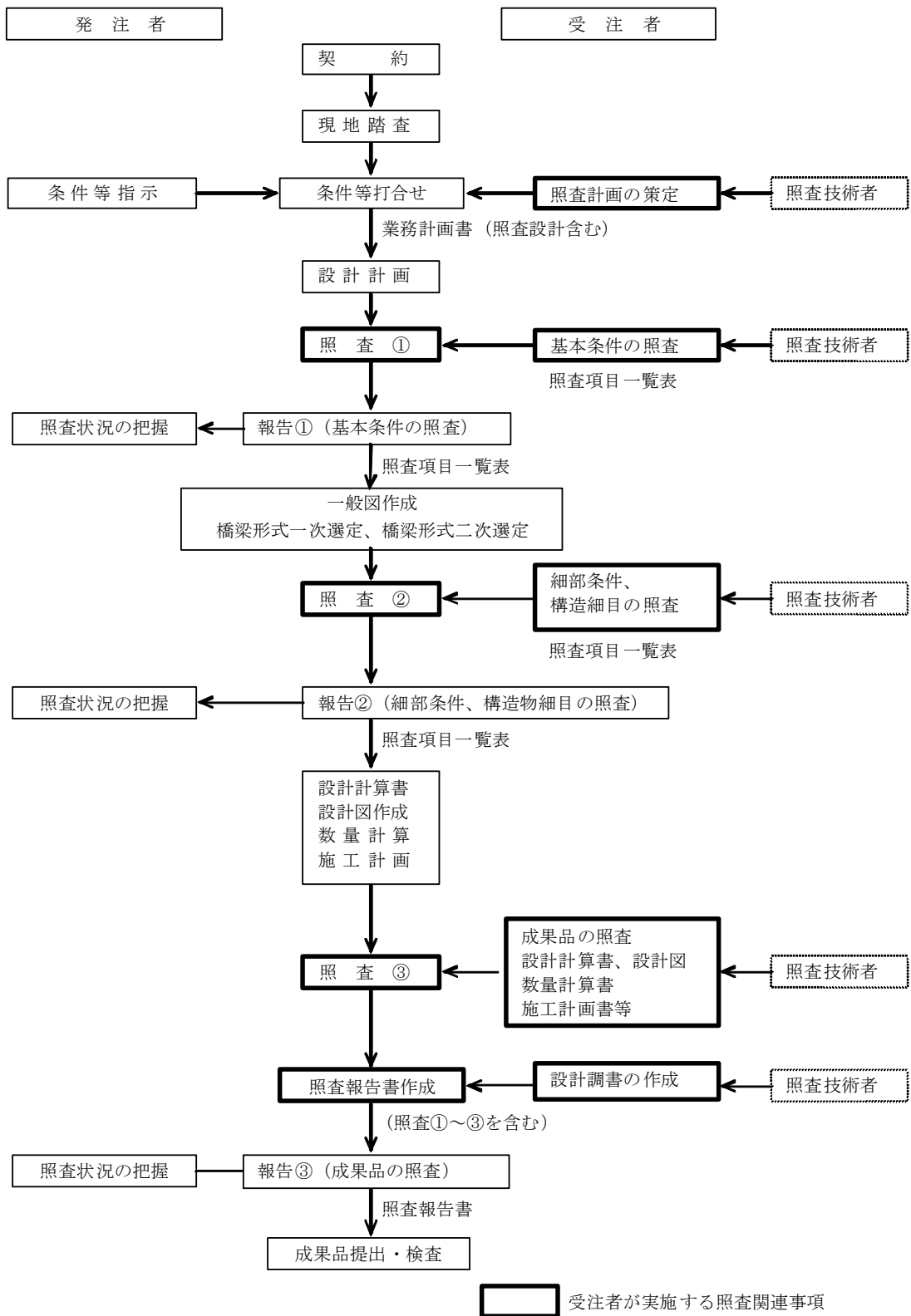
法規制の協議については、場合により 1 年を超えるなど長期間を要するものがある。また、手続き上の受付が年に数回に限られている場合もあるため、協議時期について十分に留意する必要がある。

表 4.1 代表的な法規制等

法規制等	根拠法令	愛知県担当課
都市計画（区域区分、地域地区等）	都市計画法	都市計画課
保安林	森林法	森林保全課
砂防指定地	砂防法	砂防課
地すべり防止区域	地すべり防止法	砂防課
急傾斜地崩落危険区域	急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律	砂防課
宅地造成工事規制区域	宅地造成等規制法	建築指導課
河川保全区域	河川法	河川課
特定都市河川流域	特定都市河川浸水被害対策法	河川課
海岸保全区域	海岸法	港湾課
公有水面	公有水面埋立法	港湾課
自然公園	自然公園法	自然環境課
重要文化財、史跡、名称、天然記念物、等	文化財保護法、等	文化財保護室
農業振興地域	農業振興地域の整備に関する法律	農業振興課
農地	農地法	農業振興課
土地収用	土地収用法	用地課

（平成 23 年 3 月 時点）

5. 照査フローチャート



注記 ※工程に関わる照査・報告①②③の時期は、業務計画書提出時により設定する。

※『詳細設計照査要領(建設省大臣官房技術調査室監修)』の設計調書と同様の内容を報告書等に記載する。

図 5.1 照査フローチャート

6. 照査一覧表

設計内容	照査一覧表	ページ
道路概略設計	照査① 基本条件	13-6
	照査② 細部条件	13-8
	照査③ 成果品	13-10
道路予備設計 (A)	照査① 基本条件	13-12
	照査② 細部条件	13-15
	照査③ 成果品	13-18
道路予備設計 (B)	照査① 基本条件	13-20
	照査② 細部条件	13-24
	照査③ 成果品	13-27
道路詳細設計 (函渠工, 擁壁工を含む)	照査① 基本条件	13-29
	照査② 細部条件	13-35
	照査③ 成果品	13-40
平面交差点詳細設計	照査① 基本条件	13-43
	照査② 細部条件	13-46
	照査③ 成果品	13-48
立体交差点予備設計	照査① 基本条件	13-51
	照査② 細部条件	13-55
	照査③ 成果品	13-58
山岳トンネル詳細設計	照査① 基本条件	13-60
	照査② 細部条件	13-64
	照査③ 成果品	13-67

道路概略設計
基本条件の照査項目一覧表
(照査①)

業務名： _____
発注者名： _____
受注者名： _____
照査の日付： 平成 年 月 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

道路概略設計
基本条件の照査項目一覧表 (様式-1)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	査	
1	設計の目的、主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 地域構想等に関する上位計画を把握したか。 3) 設計の主な項目、工程等について具体的内容を把握したか。	業務計画書 " "			
2	貸与資料の確認	1) 貸与資料の不足、追加事項があるか。 2) 事務所、路線毎に統一された基準要領があるか。	業務計画書 特記仕様書			
3	現地踏査	1) 現地立ち入りの留意事項を確認したか。 2) 地形、地質、地質、用・排水、土地利用等現地状況を把握したか。 3) 交通状況、道路状況、河川状況を把握したか。 4) 資料等に基づき沿道の自然環境条件(生態系・営業状況・植生等)を現地で確認したか。 5) 資料等に基づき沿道の自然環境(日照、騒音、振動等)を現地で把握したか。 6) 補償物件の状況を把握したか。(地下埋設物を含む)	打合せ記録 現地写真他 " " " "			
4	設計条件	1) 道路の機能(位置付け、性格付け)を確認したか。 2) 適用基準を確認したか。 3) 計画交通量を確認したか。 4) 道路規格を確認したか。 5) 設計速度を確認したか。 6) 横断面構成及び土工定規を確認したか。 7) コントロールポイントとすべき物件を確認したか。 8) 設計の起終点は明確になったか。 9) 法規制について確認したか。 10) 関連する事業や計画と整合がとれているか。 11) 積雪寒冷地に適用に要否は確認したか。 12) 文化財や地形・地質の特性を確認したか。	業務計画書 " " " " " " " " " " " "			
5	成果品	1) 成果品の仕様(電子納品を含む)、部数もついで確認したか。 2) 中間成果品の提出の必要性(時期、内容)について確認したか。	業務計画書 "			
6	その他	1) 業務計画書は発注者の了解を得て提出したか。 2) 受注時のTECRISに関して客先確認を行い登録したか。	業務計画書 登録受領書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

道路概略設計 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名：
発注者名：
受注者名：
照査の日付：平成 年 月 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

道路概略設計
細部条件の照査項目一覧表 (様式-2)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
1	比較路線の選定	1) 比較路線の選定は適切か。 2) コントロールポイントへの対応は適切か。 3) 道路、河川、鉄道等関連事業と整合がとれているか。 4) 土地利用(計画含む)との整合はとれているか。 5) 生活環境への対応(騒音、振動、大気、日照等)は適切か。 6) 自然環境への対応(景観、動物、植物等)は適切か。 7) 長大構造物(橋梁、トンネル)の計画は適切か。 8) 現道との交差及び接続方法は適切か。 9) 地滑り、軟弱地盤等を避ける計画を検討したか。 10) 付け替え道路、水路、側道等の計画は適切か。	報告書 " " " " " " " " " "			
2	幾何構造の照査	1) 線形の使用値(半径、曲線長、緩和曲線、視距等)は適切か。 2) 縦断線形の使用値(勾配、曲線半径、曲線長等)は適切か。 3) 平面線形と縦断線形の組み合わせは適切か。	報告書 " "			
3	平面・縦断・横断設計	1) 道路線形の連続性、円滑性は妥当か。 2) 地形との調和はとれているか。 3) 交差道路、河川、鉄道等との交差は適切か。 4) 合成勾配は適切か。 5) 上皿バランスは適切か。 6) 路面排水の流末は適切か。 7) 高盛土、高切土への配慮は適切か。 8) 標準横断図は適切か。 9) 長大法面への対応は適切か。	報告書 " " " " " " " "			
4	路線評価	1) 路線評価の評価項目は適切か。 2) 概算事業費のオーダーは適切か。	報告書 "			
5	その他	1) 変更契約に伴う、TECRIS登録は必要か。 2) 変更契約に伴う、変更業務計画書は提出してあるか。	登録受領書 変更業務計画書			

※太字コシツクの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

道路概略設計 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

道路概略設計
成果品の照査項目一覧表 (様式-3)

NO	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				対象	照査	
1	計画概要書	<ul style="list-style-type: none"> 1) 特記仕様書等の内容は反映されているか。 2) 打合せ事項は反映されているか。 3) 路線選定の経緯、概要等が整理され、最適ルート^①の決定根拠は明確か。 4) 計画地域の現況及び将来計画は整理されているか。 5) 社会的、自然的、文化的コントロール要因は整理されているか。 6) 今後の課題、留意点は整理されているか。 	設計図書 打合せ簿 報告書 " " "			
2	設計図	<ul style="list-style-type: none"> 1) 設計図の種類、記載事項、縮尺は契約図書と整合しているか。 2) 打合せ事項は反映されているか。 3) 主要構造物(橋梁、トンネル等)の全体一般図は作成しているか。 	設計図書 " "			
3	数量計算書および 概算事業費算出	<ul style="list-style-type: none"> 1) 概算事業費の数量算出項目、内容(レベル)は打合せ事項と整合しているか。 2) 数量計算と図面は一致するか。 3) 積算単価は適切か。 4) 数量及び事業費の工区区分は適切か。 	数量計算書 " " "			
5	成果品	<ul style="list-style-type: none"> 1) 必要な成果品仕様(電子納品等)、部数はあるか。 2) コスト削減留意書、リサイクル計画書を作成したか。 3) マクロ的(設計条件、幾何構造基準、構造物の寸法及び概略数量)に見て問題はないか。 	成果品 " "			
6	その他	<ul style="list-style-type: none"> 1) 担当事業課と調整されているか 2) 関係機関との協議用資料は作成したか。 3) 業務完了時のTECRISに関して客先確認を行い登録したか。 	協議用資料 協議用資料 登録受領書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

基本条 件 の 照 査 目 一 覧 表 (照 査 ①)

道路予備設計 (A)

業 務 名 : _____
発 注 者 名 : _____
受 注 者 名 : _____
照 査 の 日 付 : 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

道路予備設計 (A)
基本条件の照査項目一覧表 (様式-1)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
1	設計の目的、主旨	<ol style="list-style-type: none"> 1) 目的・主旨を理解されているか。 2) 地域構想等に関する上位計画を把握されているか。 3) 設計の主な項目、工程等について具体的内容を把握しているか。 	業務計画書 " " " "			
2	貸与資料の確認	<ol style="list-style-type: none"> 1) 貸与資料の不足、追加事項を補っているか。 2) 事務所、路線毎に統一された基準要領があるか。 	業務計画書 特記仕様書			
3	現地踏査	<ol style="list-style-type: none"> 1) 現地立ち入りの留意事項が確認されているか。 2) 地形、地質、用・排水、土地利用等現地状況が把握されているか。 3) 交通状況、道路状況、河川状況を把握されているか。 4) 資料等に基づき沿道の自然環境条件(生態系・営巣状況・植生等)を現地で確認しているか。 5) 資料等に基づき沿道の自然環境(日照、騒音、振動等)を現地で把握しているか。 6) 支障物件の状況が把握されているか。(地下埋設物を含む) 7) 施工時の留意事項が把握されているか。 	打合せ記録 現地写真他 " " " " " " " " " "			
4	設計条件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 道路の機能(位置付け、性格付け)が確認されているか。 2) 適用基準が確認されているか。 3) 計画交通量は確認されているか。 4) 道路規格は確認されているか。 5) 設計速度は確認されているか。 6) 横断面構成及び土工定規は確認されているか。 7) 地質条件は整理されているか。 8) 設計の起終点は確認されているか。 9) コントロールポイントとすべき物件が整理されているか。 10) 関連する事業や計画と整合がとれているか。 11) 法的制約条件は整理されているか。 12) 施工条件(段階施工等)は整理されているか。 	業務計画書 "			
5	用排水計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) 用排水工計画の設計条件の整理はされているか。(降雨強度気象条件等) 2) 流末位置は確認されているか。 	報告書 " "			

基本条件の照査項目一覧表（様式-1）

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
6	舗装工	1) 舗装種別及び構造の適用（交通量、設計CBR、設計期間等）が記載されているか。	報告書			
7	関連道路（側道、副道、取付道路）	1) 位置、規格、幅員、延長、断面等は決定しているか。 2) 舗装構成は決定しているか。	関連協議資料 "			
8	環境及び景観検討	1) 環境及び景観検討の必要性、範囲、コンセプトは整理されているか。 2) 環境及び景観検討の具体的方法、作成すべき資料等が明らかになっているか。 3) 環境影響評価書の有無が確認されているか。	報告書 " "			
9	積雪寒冷地対策	1) 積雪、寒冷地の適用の可否を確認したか。 2) 雪崩、地吹雪対策は必要か。 3) チェーン脱着所等の必要性の有無は整理されているか。	報告書 " "			
10	協議関連資料	1) 関連公共事業は調整済みか。 2) 道路、鉄道等との交差協議は確認したか。 3) 公安協議（事前意見聴取）は実施すべきか。 4) 河川管理者との協議結果が整理・反映されているか確認したか。	関連協議資料 " " "			
11	コスト削減	1) 概略設計で提案されたコスト削減方を確認したか。 2) 機能と工費のバランスからのコスト削減方は考えられるか（例えばVEの視点） 3) コスト削減のための提案を計画したか。	既往資料 " "			
12	建設副産物対策	1) 基本設計で作成されたリサイクル計画書を確認したか。	既往資料			
13	成果品	1) 成果品の仕様（電子納品を含む）、部数もついで確認したか。 2) 中間成果品の提出の必要性（時期、内容）について確認したか。	業務計画書 "			
14	その他	1) 業務計画書は発注者の了解を得て提出したか。 2) 受注時のTECRISに関して客先確認を行い登録したか。	業務計画書 登録受領書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

道路予備設計(A)

道路予備設計 (A)
 細部条件の照査項目一覧表
 (照査②)

業 務 名 : _____

発注者名 : _____

受注者名 : _____

照査の日付 : _____ 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

道路予備設計(A)
細部条件の照査項目一覧表(様式-2)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
1	比較路線の選定	1) 比較案の策定及び最適路線の選定は適切か。 2) コントロールポイントへの対応は適切か。 3) 道路、河川、鉄道等関連事業と整合がとれているか。 4) 土地利用(計画含む)との整合はとれているか。 5) 環境への対応(騒音、振動、大気、日照等)は適切か。 6) 自然環境への対応(景観、動物、植物等)は適切か。 7) 長大構造物(橋梁、トンネル)の計画は適切か。 8) 地形・地質条件と整合はとれているか。	報告書 " " " " " " " " " " " " " "			
2	平面・縦断計画	1) 平面線形の使用値は適切か。 2) 道路線形の連続性、円滑性は適切か。 3) 地形との調和はとれているか。 4) 現道との交差及び接続方法は適切か。 5) 付け替え道路、水路、側道等の計画は適切か。 6) 主要構造物の位置、形式等は適切か。 7) 縦断線形の使用値は妥当か。 8) 平面線形と縦断線形の組み合わせは適切か。 9) 交差条件に対するクリアランスは適切か。 10) 土量バランスは適切か。 11) 高盛土、高切土への対策は適切か。 12) 縦断計画と排水計画との整合は図れているか。	報告書 "			
3	横断設計	1) 幅員構成は適正か。 2) 法面勾配、法面保護工は適切か。 3) 擁壁、特殊法面工、土工構造物等の選定は適切か。	報告書 " " " "			
4	主要構造物設計	1) 長大橋梁、トンネルの位置、規模は適切か。 2) 函渠、管渠、擁壁等の配置、断面、位置は適切か。 3) 標準設計図集等に照らし適切か。	報告書 " " " "			
5	小構造物設計	1) 標準設計の適用方法は適正か。 2) 重力式擁壁、ブロック積、補強土等を設ける理由、形式、規模等の決定根拠は明確か。	報告書 " "			
6	用排水設計	1) 用排水系統の基本方針は適切か。 2) 流出量の算定は妥当か。 3) 集水範囲は適切か。	報告書 " " " "			

細部条件の照査項目一覧表 (様式-2)

NO	項目	主 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
		4) 降雨確率年は適切か。(通常排水施設・横断施設) 5) 通水量の算定は妥当か 6) 用排水構造物の選定は妥当か。	" " "			
7	舗装工	1) 舗装種別、構造は適切か。 2) 防護柵等道路付属物の配置及び規格は適切か。	報告書 "			
8	環境及び景観検討	1) 生活環境(騒音、振動、日照等)への対応は適切か。 2) 自然環境(生態系等)への配慮は適切か。 3) 景観への対応は適切か。	報告書 " "			
9	コスト削減	1) コスト削減方策を検討しているか。 2) 新技術の導入について検討しているか。	報告書 "			
10	その他	1) 変更契約に伴う、TECRISの登録は必要か。 2) 変更契約に伴う、変更業務計画書は提出してあるか。	登録受領書 変更業務計画書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

道路予備設計 (A) 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名： _____
発注者名： _____
受注者名： _____
照査の口付： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

道路予備設計 (A)
成果品の照査項目一覧表 (様式-3)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ③		備 考
				対 象	照 査	
1	報告書	1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 設計条件の考え方が整合しているか。 3) 各種検討の経緯と結果が反映されているか。 4) 関連協議資料がまとまられているか。 5) 施工方法は検討しているか。 6) 流量計算書は適切か。 7) 設計基準値を技術指針等より引用している場合には、出典図書名およびページを明記しているか。 8) 今後の課題、留意点は整理されているか。	報告書 " " " " " " " " " " " "			
2	設計図	1) 縮尺は設計図書と整合しているか。 2) 打合せ事項は反映されているか。 3) 主要構造物 (橋梁、トンネル等) 構造物 (函渠、擁壁) 等の全体一般図に必要な項目は記載されているか。(設計条件、地質条件) 4) 表現方法は適切か。 5) 解り易い注記がついているか。 6) 設計条件・施工条件が記載されているか。	設計図書 打合せ簿 設計図書 " " " " " "			
3	数量計算書および 概算事業費算出	1) 数量計算書は数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。(有効数字、位取り、単位、区分等) 2) 数量計算に用いた寸法、記号は図面と一致するか。 3) 概算工事費の積算単価は適切か。 4) 数量及び事業費の工区区分及び取りまとめ方法は適切か。	数量計算書 " " " " " "			
4	成果品	1) 必要な成果品仕様 (電子納品等)、部数はあるか。 2) コスト削減留意書、リサイクル計画書を作成したか。 3) マクロ的 (設計条件、幾何構造基準、構造物の寸法及び概略数量) に見て問題はないか。	成果品 " " " "			
5	その他	1) 担当事業課と調整されているか 2) 関係機関との協議用資料は作成したか。 3) 業務完了時のTECRISに関して客先確認を行い登録したか。	協議用資料 協議用資料 登録受領書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

基本条 件の照査項目一覧表 (照査①)

道路予備設計 (B)

業務名： _____
発注者名： _____
受注者名： _____
照査の日付： 平成 年 月 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

道路予備設計 (B)
基本条件の照査項目一覧表 (様式一 1)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
1	設計の目的、主旨	<ol style="list-style-type: none"> 1) 目的、主旨を理解したか。 2) 地域構想等に関する上位計画を把握したか。 3) 設計の主な項目、工程等について具体的内容を把握したか。 	業務計画書 " "			
2	貸与資料の確認	<ol style="list-style-type: none"> 1) 貸与資料の不足、追加事項があるか。 2) 事務所、路線毎に統一された基準要領があるか。 	業務計画書 特記仕様書			
3	現地踏査	<ol style="list-style-type: none"> 1) 現地立ち入りの留意事項が確認されているか。 2) 地形、地質、用・排水、土地利用等現地状況が把握したか。 3) 交通状況、道路状況、河川状況を把握したか。 4) 沿道の自然環境条件(生態系・営巣状況・植生等)を確認したか。 5) 沿道の自然環境(日照、騒音、振動等)を把握したか。 6) 支障物件の状況を把握したか。(地下埋設物を含む) 7) 施工時の留意事項を把握したか。 	打合せ記録 現地写真他 " 業務計画書 " " "			
4	設計条件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 道路の機能(位置付け、性格付け)が確認されているか。 2) 適用基準が確認されているか。 3) 計画交通量は確認されているか。 4) 道路規格は確認されているか。 5) 設計速度は確認されているか。 6) 横断面構成及び土工定規は確認されているか。 7) 地質条件は整理されているか。 8) 設計の起終点は確認されているか。 9) コントロールポイントとすべき物件が整理されているか。 10) 関連する事業や計画と整合がとれているか。 11) 法的制約条件は整理されているか。 12) 施工条件(段階施工等)は整理されているか。 	業務計画書 " " " " " " " " " " " "			
5	幾何構造、線形条件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 平面線形は妥当か。 2) 縦断線形のコントロールポイントは確認したか。 3) 幾何構造の使用値は適正か。 4) 幅員構成は適正か。(標準幅員、積雪寒冷地との整合) 	報告書 " "			
6	用地条件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 用地上のコントロールポイントを確認したか。 2) 幅員設置条件は確認したか。 	設計図書 報告書			道路予備設計(B)

基本条件の照査項目一覧表（様式-1）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				対象	照査	
7	土工及び法面工	<ol style="list-style-type: none"> 1) 土質定数の設定、湧水状況等の把握は適切か。 2) 法面勾配、法面保護工、小段幅等は適切か。 3) 地すべり等の切土部安定検討の必要性は確認したか。 4) 切土材料は盛土材料に転用できるか。 5) 特殊法面工の必要性はあるか。 6) 土工区分を確認したか。 	報告書 ” ” ” ”			
8	軟弱地盤	<ol style="list-style-type: none"> 1) 軟弱地盤対策の必要性は確認したか。 	特記仕様書			
9	道路付帯構造物 [擁壁、函渠、特殊法面保護工、落石防止工、管渠、溝橋、大型用排水溝、地下道、取付道路、側道、階段工等]	<ol style="list-style-type: none"> 1) 特記仕様書に示されていない道路付帯構造物は、標準設計を準用できるか。 2) 一般構造物予備設計は必要か。 	特記仕様書 ”			
10	用排水工計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) 設計条件の確認を行ったか。 2) 沿道の用排水系統は確認したか。 3) 流末位置は確認したか。 	報告書 ” 設計図書			
11	舗装工	<ol style="list-style-type: none"> 1) 舗装種別及び構造の適用（交通量、設計CBR、設計期間）は確認したか。 2) 特別箇所（軟弱地盤、低盛土等）の要否を確認したか。 	関連機関 との協議 報告書 設計図書 ”			
12	関連道路（側道、副道、取付道路）	<ol style="list-style-type: none"> 1) 幅員、延長、断面等は確認したか。 2) 舗装構成は決定しているか。 	報告書 設計図書 ”			
13	環境及び景観検討	<ol style="list-style-type: none"> 1) 環境影響評価の内容を把握したか。 2) 自然環境及び景観検討の必要性、範囲、コンセプトを理解したか。 3) 環境及び景観検討の具体的方法、作成すべき資料等を確認したか。 	報告書 ” ”			

道路予備設計(B)

基本条件の照査項目一覧表（様式-1）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				対象	照査	
14	積雪寒冷地対策	1) 積雪寒冷地適用の要否は確認したか。 2) 雪崩、地吹雪対策の必要性は確認したか。	関連機関との協議			
15	協議関連資料	1) 道路、鉄道等との交差協議の調整は確認したか。 2) 河川協議との調整は確認したか。 3) 公安協議(事前意見聴取)との調整は確認したか。 4) 地元及び地権者との調整は確認したか。 5) 保安林及び埋蔵文化財等との調整は確認したか。 6) 各種法規制の適用区域及び規制値を確認したか。 7) 都市計画及び土地利用を確認したか。 8) 上位計画、開発行為及び電線類地中化を確認したか。 9) 土捨場、または土取場の位置、規模は確認したか。 10) フェーン脱着所等の必要の有無は整理されているか。	” ” ” ” ” ” ” ” ” ” ”			
16	コスト縮減	1) 概略設計・道路予備設計(A)で提案されたコスト縮減方策を確認したか。 2) 機能と工費のバランスからのコスト縮減方策は考えられるか(例えばVEの視点) 3) コスト縮減のための提案を計画したか。	既往資料 ” ”			
17	建設副産物対策	1) 概略設計・道路予備設計(A)で作成されたリサイクル計画書を確認したか。	既往資料			
18	成果品	1) 成果品の仕様(電子納品を含む)、部数もついて確認したか。 2) 中間成果品の提出の必要性(時期、内容)について確認したか。	業務計画書 ”			
19	その他	1) 業務計画書は発注者の了解を得て提出したか。 2) 受注時のTECRISに関して客先確認を行い登録したか。	業務計画書 登録受領書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

道路予備設計 (B) 案件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 年 月 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

道路予備設計 (B)
細部条件の照査項目一覧表 (様式-2)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
1	幾何構造基準	1) 幾何構造の使用値は適切か。	報告書			
2	縦断設計	1) 設計条件の設定は適切か。 2) コントロールポイントとの整合は適切か。 3) 平面線形との組み合わせは、主要構造物の位置、形式等は適切か。 4) 縦断線形と排水計画との整合は図れているか。	報告書 " " "			
3	横断設計	1) 設計条件(幅員構成、法勾配等)の設定は適切か。 2) 土層線の設定は適切か。 3) 側道、水路等の設定は適切か。	報告書 " "			
4	土工、法面工設計	1) 法面保護工の工種、勾配等は適切か。 2) 地滑り等の安定解析は必要か。 3) 軟弱地盤対策は適切か。 4) 土工対策に必要な地形地質情報は適切に使用されているか。	報告書 " " "			
5	道路付帯構造物設計	1) 現場条件・設計条件の設定は適切か。 2) 構造物の設定は適切か。 3) プレキャスト製品の適用は適切か。	報告書 " "			
6	小構造物設計	1) 設計条件の設定は適切か。 2) 標準設計の適用方法は適切か。 3) 重方式擁壁、ブロック積等を設ける理由、形式高さ等の決定根拠は適切か。 4) プレキャスト製品の適用は適切か。	報告書 " " "			
7	用排水設計	1) 用排水系統は適切か。 2) 流出量の算出は妥当か。 3) 通水量の算定は妥当か。 4) 用排水構造物の選定は適切か。	報告書 " " "			
8	舗装工	1) 舗装種別及び構造の適用(交通量、設計CBR、設計期間等)が記載されているか。	報告書			
9	環境及び景観検討	1) 生活環境(騒音、振動、日照等)への対応は適切か。 2) 自然環境(生態系等)への配慮は適切か。	報告書 "			道路予備設計(B)

細部条件の照査項目一覧表 (様式-2)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
		3) 景観 (植栽等) 性は適切か。	〃			
10	施工計画	1) 工区分けは適切か。(暫定施工、段階施工を含む) 2) 暫定施工、段階施工の考え方は適切か。	報告書 〃			
11	関連協議	1) 関連協議による諸条件を確認したか。 2) 必要な関連協議は終了しているか。	報告書 〃			
12	コスト削減	1) コスト削減方策を検討しているか。 2) 新技術の導入について検討しているか。	報告書 〃			
13	その他	1) 変更契約に伴う、TECRISの登録は必要か。 2) 変更契約に伴う、変更業務計画書は提出してあるか。	登録受領書 変更業務計画書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

道路予備設計(B)
成果品の照査項目一覧表
(照査③)

業務名： _____
発注者名： _____
受注者名： _____
照査の日付： 平成 年 月 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

道路予備設計 (B)
 成果品の照査項目一覧表 (様式-3)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ③		備 考
				対 象	照 査	
1	報告書	<ol style="list-style-type: none"> 1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 設計条件の考え方が整合しているか。 3) 各種検討の経緯と結果が反映されているか。 4) 関連協議資料がまとまっているか。 5) 施工方法は検討しているか。 6) 流量計算書は適切か。 7) 設計基準値を技術指針等より引用している場合には、出典図書およびページを明記しているか。 8) 今後の課題、留意点は整理されているか。 	報告書 " " " " " "			
2	設計図	<ol style="list-style-type: none"> 1) 縮尺は設計図書と整合しているか。 2) 打合せ事項は反映されているか。 3) 構造物 (函渠、擁壁) 等の全体一般図に必要な項目は記載されているか。(設計条件、地質条件) 4) 表現方法は適切か。 5) 解り易い注記がついているか。 6) 設計条件・施工条件が記載されているか。 7) 平面図、横断面図に幅杭の記載はあるか。 	設計図書 " " " " " "			
3	数量計算書	<ol style="list-style-type: none"> 1) 数量計算書は数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。(有効数字、位取り、単位、区分等) 2) 数量計算に用いた寸法、記号は図面と一致するか。 	数量計算書 "			
4	用地幅杭調査	<ol style="list-style-type: none"> 1) 調査の記入は適切にされているか。 	用地幅杭調査			
5	成果品	<ol style="list-style-type: none"> 1) 必要な成果品仕様 (電子納品等)、部数はあるか。 2) コスト縮減留意書、リサイクル計画書を作成したか。 	成果品 報告書			
5	その他	<ol style="list-style-type: none"> 1) 担当事業課と調整されているか 2) 関係機関との協議用資料は作成したか。 3) 業務完了時のTECRISに関して客先確認を行い登録したか。 	協議用資料 協議用資料 登録受領書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

道路詳細設計 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

受注者印	照査技術者	管理技術者
------	-------	-------

道路詳細設計
基本条件の照査項目一覧表 (様式-1)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
1	設計の目的、主旨	<ol style="list-style-type: none"> 1) 目的・主旨を理解したか。 2) 地域構想等に関する上位計画を把握したか。 3) 設計の主な項目、工程等について具体的内容を把握したか。 	提示資料 業務計画書 " " " "			
2	貸与資料の確認	<ol style="list-style-type: none"> 1) 貸与資料の不足、追加事項があるか。 2) 事務所、路線毎に統一された基準要領があるか。 	業務計画書 特記仕様書			
3	現地踏査結果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 地形、地質、地質、用・排水、土地利用等現地状況を把握したか。 2) 交通状況、道路状況、河川状況を把握したか。 3) 沿道の環境状況(日照、騒音、振動等)を把握したか。 4) 支障物件の状況を把握したか。(地下埋設物を含む) 5) 施工時の留意事項を把握したか。 	現場写真他 " " 業務計画書 " " " "			
4	設計条件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 道路規格を確認したか。 2) 設計速度を確認したか。 3) 計画交通量を確認したか。 4) 横断面構成を確認したか。 5) 適用基準を確認したか。 6) 関連する設計と整合がとれているか。 	業務計画書 " " " " " " " "			
5	施工区分	<ol style="list-style-type: none"> 1) 暫定施工時の施工区分を把握したか。 2) 現道拡幅時の施工区分を把握したか。 	業務計画書 " "			
6	幾何構造、線形条件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 平面及び縦断の設計値は適正か。 2) 幾何構造の使用値は適正か。 3) 橋、トンネル桁口等の取合いを配慮したか。 4) 幅員構成は適正か。(標準幅員、積雪寒冷地との整合) 	報告書 " " " " " "			
7	用地条件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 用地上の市杭表はあるか。 	設計図書			
8	土工及び法面工	<ol style="list-style-type: none"> 1) 土質定数の設定、湧水状況等の把握は適正か。 2) 法面勾配等は適正か。 3) 地すべり等の切土部安定検討は適正か。 4) 切土材料は盛土材料に転用できるのか。 5) 特殊法面工の必要性はあるか。 6) 土砂の処理場及び採取場の把握はしてあるか。 	報告書 " " " " " " " "			

基本条件の照査項目一覧表 (様式-1)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
11	擁壁工	<p>17) 地盤条件 (支持力、地下水位等) は整理してあるか。</p> <p>18) 施工ヤードスペースは確認したか。</p> <p>19) 資機材運搬路は確保できているか。</p> <p>20) 設計計算の条件は妥当か。計算式の適用は確認されているか。(プログラム等)</p> <p>21) 適用する設計基準は確認されているか。</p> <p>1) 所要高さの決定の根拠は適正か。</p> <p>2) 型式選定の根拠は適正か。</p> <p>3) 線形の変更、用地の利用等によって擁壁の規模縮小が可能であるかどうか工夫したか。</p> <p>4) 特記仕様書に示されていない道路付帯構造物は、標準設計を適用できるか。</p> <p>5) 向上を適用しないときは応力計算が必要か。</p> <p>6) 自動設計 (計算ソフト) の適用方法は適正か。</p> <p>7) プレキャスト製品の適用は適正か。</p> <p>8) 支障物の状況は把握したか。</p> <p>9) 荷重条件 (設計時、施工時) は適正か。</p> <p>10) 地覆、高欄は適正か。</p> <p>11) 遮音壁、落下物防止柵は適正か。</p> <p>12) フーチングの土かぶり方は適切か (交差条件等)。</p> <p>13) 耐震設計の必要性を確認したか。</p> <p>14) 塩害に対する検討の必要性を確認したか。</p> <p>15) 用地境界までの余裕幅を確認したか。</p> <p>16) 土質定数の決定根拠は明確になっているか。</p> <p>17) 基礎型式選定のための地盤条件は整理されているか。</p> <p>18) 現道交通、隣接家屋への影響を配慮したか。</p> <p>19) 全体的なすべりの安定性は確認したか。</p> <p>20) 施工ヤードスペースは確認したか。</p> <p>21) 資機材運搬路は確保できるか。</p> <p>22) 環境及び景観検討の必要性、デザインコンセプト、範囲等は理解したか。</p> <p>23) 設計計算の条件は妥当か。計算式の適用は確認されているか (プログラム等)。</p> <p>24) 適用する設計基準は確認されているか。</p>	<p>設計図書 報告書</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>設計図書 報告書</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p> <p>"</p>			
12	排水工	<p>1) 流出量の算定は妥当か。(集水域、流出係数、降雨強度、確率年、算定式)</p> <p>2) 通水量の算定は妥当か。(粗度係数等)</p>	<p>報告書</p> <p>"</p>			

基本条件の照査項目一覧表（様式-1）

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
13	排水処理	3) 施設選定は妥当か。(経済性、施工性、機能性、計画性) ・パイプとボックス ・PCCパイプ、ヒューム管及びコルゲート管 ・基礎形式選定の適否 4) 断面決定で余裕が見込めるか。 5) 排水勾配(流速の許容範囲)は妥当か。 6) 最小土被りの設定は妥当か。 7) 協議関係は必要か。	” ” ” ” ” 設計図書 関連機関と の協議			
14	舗装工	1) 用水系統は適切か。 2) 排水系統は適切か。 3) 流末位置は適正か。	設計図書 ” 関連機関と の協議			
15	小構造物	1) 舗装種別及び構造の適用(交通量、設計CBR、設計期間)に問題はないか。 2) 再生材の使用は考慮されているか。 3) 特別箇所(軟弱地盤、低盛上等)の路床改良の要否 4) 防護柵等道路付属物の配置及び規格は適正か。 1) 標準設計の適用方法は適正か。 2) 重力式擁壁、ブロック積等を設ける理由、型式高さ等決定根拠は明確か。 3) 二次製品の適用は適正か。	報告書 ” ” 設計図書 報告書 ”			
16	関連道路 (関連、側道、取付交通)	1) 幅員、延長、断面等は適正か。 2) 沿道に対する高さ等の取合は考慮してあるか。 3) 舗装構成は決定しているか。	報告書 設計図書 報告書			
17	環境及び景観検討	1) 環境及び景観検討の必要性、範囲、コンセプトが理解されたか。 2) 環境及び景観検討の具体的方法、作成すべき資料等は明らかとなっているか。	報告書 ”			
18	防雪対策	1) 雪崩、地吹雪対策は考慮されているか。	報告書			
19	協議関連資料	1) 交差協議の調整は確認したか。	関連機関			

基本条件の照査項目一覧表(様式-1)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
		2) 地元及び地権者との調整は確認したか。 3) 公安協議(事前意見聴取)との調整は確認したか。 4) バス路線になるかどうか確認したか。 5) 地下占有企業者との調整は確認したか。 6) 保安林及び埋蔵文化財等との調整は確認したか。 7) 各県公営防止条約の適用区域及び規制値を確認したか。 8) 都市計画及び土地利用を確認したか。 9) 上位計画、開発行為及び電線類地中化を確認したか。 10) 土捨て場、または土取場の位置、規模は確認したか。 11) 休憩施設、フェーン着脱場等の計画は確認したか。	との協議 " " " " " " 報告書 " " " " " " " "			
20	コスト削減	1) 予備設計で提案されたコスト削減設計留意書を確認したか。 2) 機能と工費のバランスからのコスト削減方策は考えられるか(例えばVEの視点) 3) コスト削減のための提案を計画したか。	" " "			
21	建設副産物対策	1) 予備設計で作成されたリサイクル計画書を確認したか。	報告書			
22	成果品	1) 成果品の仕様(電子納品を含む)、部数もついで確認したか。 2) 中間成果品の提出の必要性(時期、内容)について確認したか。	業務計画書 " "			
23	その他	1) 業務計画書は発注者の了解を得て提出したか。 2) 受注時のTECRISに関して客先確認を行い登録したか。	業務計画書 登録受領書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

道路詳細設計 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

受注者印	照査技術者	管理技術者
------	-------	-------

道路詳細設計
細部条件の照査項目一覧表 (様式-2)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
1	協議関連	1) 協議は諸条件と合致しているか。	設計図書			
2	施工計画	1) 工区分けは適正か。(暫定施工の有無を含む) 2) 施工性に問題はないか。 3) 暫定施工の考え方に問題はないか。 4) 建設副産物の処理方法は適正か。リサイクル計算書を考慮したか。	報告書 " " "			
3	設計計算	1) 片勾配、拡幅のすりつけに問題はないか。 2) 用・排水の系統及び通水断面に問題はないか。 3) 既存・類似設計との設計条件、適用範囲を比較確認しているか。	設計計算書 " 報告書			
4	数量計算	1) 数量算出要領により確認を行ったか。	数量計算書			
5	土工及び法面	1) 切土断面の岩盤推定線は妥当か。 2) 用地の余裕幅は適正か。 3) 方面保護工の選定は適正か。 4) 切土材料と盛土材料への転用は適正か。	設計図書 " 報告書 "			
6	軟弱地盤	1) 土質定数は整理されているか。 2) 盛土工程は適切か。(一般盛土部、構造物、水路切り廻し等) 3) 対策工の必要性と工種及びその範囲は適正か。 ①盛土安定対策 ②沈下対策 ③その他対策 4) サンドマットの厚さは施工性を考慮したか。 5) 動態観測の計画は作成されているか。 6) 暗渠排水計画(形状、間隔)は適正か。 7) 沈下量を度重計算しているか。 8) 用排水路で沈下すると不都合なものはないか。ある場合はその対策。	報告書 " " " " 設計図書 報告書 " " "			

細部条件の照査項目一覧表 (様式-2)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
7	函渠工	<p>1) 本体長、伸縮目地の決定方法は適正か。</p> <p>2) 軟弱地盤上に構築される場合の鉛直土厚係数は考慮してあるか。(杭基礎などの場合)</p> <p>3) 沈下の大きい場所での特別の処置 (段落ち防止枕等) は考慮しているか。</p> <p>4) 不等沈下はないか。</p> <p>5) 斜角のつく場合の考慮をしてあるか。(斜角部の設計方法)</p> <p>6) 踏掛板の形状、寸法は適正か。</p> <p>7) 基礎工の選定は適正か。</p> <p>8) 標準設計適用以外の応力チェックはされているか。</p> <p>9) 道路と平行に設置された場合の活荷重載荷方法は適正か。</p> <p>10) 地下水位や液状化地盤に対する検討がされているか (浮上がりの検討等)。</p> <p>11) 使用材料、許容応力度は妥当か。</p> <p>12) 構造細目は妥当か (鉄筋かぶり、ピッチ、継手、折り曲げ位置、フック形状等)</p> <p>13) ハンチを付さない場合、その対策はしているか。</p> <p>14) ウイング厚と本体厚のバランスはとれているか。</p> <p>15) 排水工、防水工は考慮されているか。</p> <p>16) 照明配管、排水は考慮されているか。</p> <p>17) 配筋に対するチェックはされているか。</p> <p>18) 管理上の問題は残されていないか。(道路、水路等)</p> <p>19) 現場打ちとプレキャストの使い分けは適正か。</p> <p>20) プレキャスト製品を使用した場合、現場条件と適用条件の整合を確認したか。</p> <p>21) 使用材料は明記されているか。</p> <p>22) 工事発注に際しての留意事項が記されているか。</p> <p>23) 数量計算書は数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。</p> <p>24) 数量計算書に用いた寸法、数値は図面と一致するか。</p>	<p>設計図書</p> <p>設計計算書</p> <p>設計図書</p> <p>報告書</p> <p>設計図書</p> <p>”</p> <p>設計計算書</p> <p>”</p> <p>”</p> <p>”</p> <p>”</p> <p>”</p> <p>報告書</p> <p>設計図書</p> <p>設計計算書</p> <p>設計図書</p> <p>”</p> <p>数量計算書</p> <p>”</p>			
8	擁壁工	<p>1) 標準設計適用以外の応力チェックはされているか。</p> <p>2) 擁壁高さの決定、地山の取合、底面の勾配は適正か。</p> <p>3) 背面上の適用は適正か(施工時の安定性等)。</p> <p>4) 目地間隔は適正か。</p>	<p>設計計算書</p> <p>設計図書</p> <p>設計計算書</p> <p>設計図書</p>			

細部条件の照査項目一覧表 (様式-2)

NO	項目日	主 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
		2) その他	〃			
12	仮設構造物	1) 山留め形式の選定は適切か。(現道拡幅時の仮設、構造物掘削の工法) 2) 安全性の確保、施工性、現地との整合、近接構造物との関係に配置したか。	報告書 〃			
13	環境及び景観検討	1) 環境(騒音、振動)面の対応は適正か。 2) 景観(植栽等)性は妥当か	報告書 〃			
14	環境及び景観検討	1) 環境(騒音、振動)面の対応は適正か。 2) 景観(植栽等)性は妥当か。	報告書 〃			
15	コスト縮減	1) 予備設計で提案されたコスト縮減設計留意書について検討したか。				

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

道路詳細設計
成果品の照査項目一覧表
(照査③)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 年 月 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

道路詳細設計
成果品の照査項目一覧表 (様式-3)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ③		備 考
				対 象	照 査	
1	設計計算書	<p>1) 打合せ事項は反映されているか。</p> <p>2) 安定計算結果は許容値を満たすか。</p> <p>3) 許容応力度の取り方は正しいか。</p> <p>4) 用排水の流出量と通水量を照査したか。</p> <p>5) 隣接工区との整合はとれているか。</p>	設計計算書 " " " "			
2	設計図	<p>1) 縮尺は契約図書と整合しているか。</p> <p>2) 打合せ事項は反映されているか。</p> <p>3) 構造物（函渠、擁壁等）の全体一般図に必要な項目は記載されているか。（設計条件、地質条件等）</p> <p>4) 表現方法は適正か。</p> <p>5) 解り易い注記がついているか。</p> <p>6) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。</p>	設計図書 " " " " "			
3	数量計算書	<p>1) 数量計算は数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。（有効数字、位取り、単位、区分等）</p> <p>2) 数量計算に用いた寸法、記号は図面と一致するか。</p> <p>3) 数量取りまとめは、種類毎に、材料毎に、打合せ区分毎にまとめられているか。</p>	数量計算書 " "			
4	施工方法の検討	<p>1) 施工時の道路、河川等の切り廻し計画は適正か。</p> <p>2) 工用道路、運搬路計画は適正か。</p> <p>3) 施工ヤード、施工スペースは確保されているか。</p> <p>4) 安全性は配慮されているか。</p> <p>5) 暫定計画、完成計画との整合はとれているか。</p>	施工計算書 " " " "			
5	設計調査	<p>1) 調査の記入は、適正にされているか。</p> <p>2) マクロ的（設計条件、幾何構造基準、構造物の寸法及び概略数量）に見て問題はないか。</p>	設計調査 "			
6	報告書	<p>1) 打合せ事項は反映されているか。</p> <p>2) 条件設定の考え方が整合しているか。</p> <p>3) 比較、検討の結果が整合されているか。</p> <p>4) 工事発注に際しての留意事項が記述されているか。</p> <p>5) 設計基準値を技術指針等より引用している場合には、出典図書名及びページを明記しているか。</p>	報告書 " " " "			

成果品の照査項目一覧表 (様式-3)

NO	項目	主な内容	提示資料	照査③		備考
				対象	照査	
7	建設副産物	1) リサイクル計画書を作成しているか。	リサイクル計画書			
8	その他	1) 担当事業課と調整されているか 2) 関係機関との協議用資料は作成したか。 3) 業務完了時のTECRISに関して客先確認を行い登録したか。	協議用資料 協議用資料 登録受領書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

基本条 件 の 照 査 目 一 覧 表

平面交 差 点 詳 細 設 計

照 査 ①

業 務 名 : _____

発 注 者 名 : _____

受 注 者 名 : _____

照 査 の 日 付 : _____ 年 _____ 月 _____ 日

受注者印	照査技術者
	管理技術者

平面交差点詳細設計
基本条件の照査項目一覧表 (様式-1)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
1	設計の目的、主旨	<ol style="list-style-type: none"> 1) 目的、主旨は理解したか。 2) 地域構想等に関する上位計画を把握したか。 3) 設計の内容、範囲、工程等について具体的に把握したか。 	業務計画書 " " "			
2	資料の収集、確認 (1) 予備設計に関する資料	<ol style="list-style-type: none"> 1) 予備設計の計画は適正か。 2) 貸与資料の不足点、追加事項があるか。 3) 事務所、路線毎に統一された基準要領はあるか。 	業務計画書 " " 特記仕様書			
3	現地踏査結果	<ol style="list-style-type: none"> 1) 地形、地物、現地状況を把握したか。 2) 交通状況、道路状況、河川状況を把握したか。 3) 交差道路の規制状況を確認したか。 4) 沿道の環境状況(日照、騒音、振動等)を把握したか。 5) 支障物件の状況を把握したか。(地下埋設物を含む) 6) 大規模交通発生施設、歩行者の動線を把握したか。 7) 施工時の注意事項を把握したか。 	現場写真他 " " " " 業務計画書 " " " " " "			
4	設計条件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 道路の構造、規格は適正か。 2) 交差点の設計速度は適正か。 3) 交差点形状は適正か。 4) 平面交差の間隔は適正か。 5) 方向別交通量は適正か。 6) 交差点制御方法は適正か。 7) 設計車両は適正か。 8) 積雪寒冷地の適用は適正か(幅員、除雪スペース舗装等) 9) 歩行者の動線は適正か。 10) 関連する設計と整合がとれているか。 	業務計画書 " " 報告書 " " " " " " " " " " " " " "			
5	幾何構造	<ol style="list-style-type: none"> 1) 平面及び縦断線形は適正か。 2) 幅員構成は適正か。 3) 視野、見通し距離は適正か。 4) 付加車線の設置は適正か。 5) 交差角は適正か。 6) 本線シフトは適正か。 7) 隅切りは適正か。 	報告書 " " " " " " 設計図書 " " " "			
6	用地条件	<ol style="list-style-type: none"> 1) 用地巾杭表はあるか。 	設計図書			平面交差点詳細設計

基本条件の照査項目一覧表 (様式-1)

NO	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				対象	照査	
7	関連道路(側道、副道、取付支道)	<ol style="list-style-type: none"> 1) 主、従道路の優先関係は明確となっているか。 2) 副道等の取付方法は適正か。 3) 従道路の整備は適正か。 	報告書 設計図書 "			
8	交通管制と交通処理	<ol style="list-style-type: none"> 1) 信号現示と交差点飽和度は適正か。 2) 交差点交通容量は適正か。 3) 交通処理方法は適正か。 4) 横断歩道及び停止線位置は適正か。 5) バス停留所の位置、停車帯の形状等は適正か。 6) 沿道からの出入り箇所は適正か。 	報告書 " " 設計図書 " "			
9	計画条件の整理	<ol style="list-style-type: none"> 1) 土工及び法面工の計画は適正か。(道路詳細設計との整合) 2) 小構造物及び構造物の計画は適正か。(道路詳細設計との整合) 3) 用、排水工の計画は適正か。(道路詳細設計との整合) 4) 舗装工の計画は適正か。(道路詳細設計との整合) 	報告書 設計図書 " 報告書			
10	協議調整事項の確認	<ol style="list-style-type: none"> 1) 関係諸官庁、諸機関及び地元との協議調整事項は設計に反映されているか。 2) 協議条件と一致しているか。 	関係機関との協議 設計図書			
11	環境及び景観検討	<ol style="list-style-type: none"> 1) 環境及び景観検討の必要性、範囲、コンzeptが理解されたか。 2) 環境及び景観検討の具体的方法、作成すべき資料等は明らかとなっているか。 	報告書 "			
12	成果品	<ol style="list-style-type: none"> 1) 成果品の仕様(電子納品を含む)、部数もついで確認したか。 2) 中間成果品の提出の必要性(時期、内容)について確認したか。 	業務計画書 "			
13	その他	<ol style="list-style-type: none"> 1) 業務計画書は発注者の了解を得て提出したか。 2) 受注時のTECRISに関して客先確認を行い登録したか。 	業務計画書 登録受領書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

細部条
平面交差点詳細設計
照査項目一覧表
(照査②)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

平面交差点詳細設計
基本条件の照査項目一覧表(様式-2)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
1	協議関係	1) 協議は諸条件と合致しているか。	設計図書			
2	施工計画	1) 工期分けは妥当か。(暫定施工の有無を含む) 2) 施工性に問題はないか。 3) 暫定施工の考え方に問題はないか。 4) 現道交通確保の安全性に問題はないか。	報告書 " " " "			
3	設計計算	1) 交通処理能力に問題はないか。 2) 用、排水の系統及び通水断面に問題はないか。	設計計算書 " "			
4	数量計算	1) 数量算出要領により確認を行ったか。	数量計算書			
5	詳細検討	1) 中央分離帯の位置は適正か。 2) 導流路及び歩道の巻き込みは適正か。 3) 路面表示は適正か。 4) 付加車線等の諸元は適正か。 5) 信号、照明、安全施設等の設置計画は適正か。 6) 交通管制面で近接する交差点との整合性はとれているか。 7) 積雪寒冷地の対応は適正か。 8) 道路詳細設計と整合はとれているか。 9) 土工及び法面工の設計は適切か。(道路詳細設計と整合) 10) 小構造物及び構造物の設計は適正か。(道路詳細設計と整合) 11) 用、排水工の設計は適正か。(道路詳細設計と整合) 12) 舗装工の設計は適正か。(道路詳細設計と整合) 13) 用地幅は適正か。(道路詳細設計と整合)	設計図書 " " " " 報告書 " " " " 設計図書 " " " " " "			
6	環境及び景観検討	1) 環境(騒音、振動)面の対応は妥当か。 2) 景観(植栽等)性は妥当か。	報告書 " "			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

平面交差点詳細設計 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名： _____
発注者名： _____
受注者名： _____
照査の日付： 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

平面交差点詳細設計
成果品の照査項目一覧表（様式-3）

NO	項目	主 内 容	提示資料	照 査 ③		備 考
				対 象	照 査	
1	設計計算書	<p>1) 打合せ事項は反映されているか。</p> <p>2) 安定計算結果は許容値を満たすか。</p> <p>3) 用排水の流出量と通水量を照査したか。（道路詳細設計と整合）</p>	設計計算書 " "			
2	設計図	<p>1) 縮尺は契約図書と整合しているか。</p> <p>2) 打合せ事項は反映されているか。</p> <p>3) 全体一般図に必要な項目は記載されているか。</p> <p>4) 表現方法は適正か。</p> <p>5) 解り易い注記がついているか。</p> <p>6) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか。</p>	設計図書 " " " " "			
3	数量計算書	<p>1) 数量計算は数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。（有効数字、位取り、単位、区分等）</p> <p>2) 数量計算に用いた寸法、記号は図面と一致するか。</p> <p>3) 数量取りまとめは、種類毎に、材料毎に、打合せ区分毎にまとめられているか。</p>	数量計算書 " "			
4	施工方法の検討	<p>1) 施工時の道路、河川等の切り廻し計画は適正か。</p> <p>2) 工事用道路、運搬路計画は適正か。</p> <p>3) 施工ヤード、施工スペースは確保されているか。</p> <p>4) 安全性は配慮されているか。</p> <p>5) 暫定計画、完成計画との整合はとれているか。</p>	施工計算書 " " " "			
5	設計調査	<p>1) 調査の記入は、適正にされているか。</p> <p>2) マクロ的（設計条件、幾何構造基準、構造物の寸法及び概略数量）に見て問題はないか。</p>	設計調査 "			
6	報告書	<p>1) 打合せ事項は反映されているか。</p> <p>2) 条件設定の考え方が整合しているか。</p> <p>3) 比較、検討の結果が整合されているか。</p> <p>4) 工事発注に際しての留意事項が記述されているか。</p> <p>5) 設計基準値を技術指針等より引用している場合には、出典図書名及びページを明記しているか。</p>	報告書 " " " "			
7	建設副産物対策	<p>1) リサイクル計画書を作成しているか。</p>	リサイクル計画書			

成果品の照査項目一覧表（様式-3）

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ③		備 考
				対 象	照 査	
8	その他	1) 担当事業課と調整されているか 2) 関係機関との協議用資料は作成したか。 3) 業務完了時のTECRISに関して客先確認を行い登録したか。	協議用資料 協議用資料 登録受領書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

立休交差予備設計

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

受注者印	照査技術者	管理技術者
------	-------	-------

立体交差予備設計
基本条件の照査項目一覧表 (様式-1)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
1	設計の目的、主旨	1) 目的・主旨を理解したか。 2) 地域構想等に関する上位計画を把握したか。 3) 設計の主な項目、工程等について具体的内容を把握したか。	業務計画書 " "			
2	貸与資料の確認	1) 貸与資料の不足、追加事項があるか。 2) 事務所、路線毎に統一された基準要領があるか。	業務計画書 特記仕様書			
3	現地踏査	1) 現地立ち入りの留意事項が確認されているか。 2) 地形、地質、用・排水、土地利用等現地状況が把握したか。 3) 交通状況、道路状況、河川状況を把握したか。 4) 沿道の自然環境条件(生態系・大気等)を確認したか。 5) 沿道の自然環境(日照、騒音、振動等)を把握したか。 6) 支障物件の状況を把握したか。(地下埋設物を含む) 7) 施工時の留意事項を把握したか。	打合せ記録 現地写真他 " 業務計画書 " " "			
4	設計条件	1) 道路の機能(位置付け、性格付け)が確認されているか。 2) 適用基準が確認されているか。 3) 計画交通量は確認されているか。 4) 道路規格は確認されているか。 5) 設計速度は確認されているか。 6) 横断面構成及び土工定規は確認されているか。 7) 地質条件は整理されているか。 8) 設計の起終点は確認されているか。 9) コントロールポイントとすべき物件が整理されているか。 10) 関連する事業や計画と整合がとれているか。 11) 法的制約条件は整理されているか。 12) 施工条件(段階施工等)は整理されているか。	業務計画書 " " " " " " " " " " "			
5	幾何構造、線形条件	1) 立体交差部の平面線形は適切か。 2) 縦断線形のコントロールポイントは確認したか。 3) 幾何構造の使用値は適正か。 4) 幅員構成は適正か。(標準幅員、積雪寒冷地との整合)	既往資料 " "			
6	用地条件	1) 用地上のコントロールポイントを確認したか。 2) 幅抗設置条件は確認したか。	設計図書 報告書			立体交差予備設計

基本条件の照査項目一覧表（様式-1）

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
7	土工及び法面工	<ul style="list-style-type: none"> 1) 土質定数の設定、湧水状況等の把握は適切か。 2) 法面勾配、法面保護工、小段幅等は適切か。 3) 地すべり等の切土部安定検討の必要性は確認したか。 4) 切土材料は盛土材料に転用できるか。 5) 特殊法面工の必要性はあるか。 6) 土工区分を確認したか。 	報告書 " " " " " " " "			
8	軟弱地盤	<ul style="list-style-type: none"> 1) 軟弱地盤対策の必要性は確認したか。 	特記仕様書			
9	道路付帯構造物 〔擁壁、函渠、特殊 法面保護工、落石防 止工、管渠溝橋、大 型用排水溝、地下 道、取付道路、側 道、階段工等〕	<ul style="list-style-type: none"> 1) 特記仕様書に示されていない道路付帯構造物は、標準設計を 準用できるか。 2) 一般構造物予備設計は必要か。 	特記仕様書 "			
10	用排水工計画	<ul style="list-style-type: none"> 1) 設計条件の確認を行ったか。 2) 沿道の水排水系統は確認したか。 3) 流末位置は確認したか。 	既往資料 " 既往設計図			
11	舗装工	<ul style="list-style-type: none"> 1) 舗装種別及び構造の適用（交通量、設計CBR、設計期間）は 確認したか。 2) 特別箇所（軟弱地盤、低盛上等）の要否を確認したか。 	関連協議資料 既往資料			
12	関連道路 （側道、副道、取付 道路）	<ul style="list-style-type: none"> 1) 幅員、延長、断面等は確認したか。 2) 舗装構成は決定しているか。 	既往設計図 "			
13	環境及び景観検討	<ul style="list-style-type: none"> 1) 環境影響評価の内容を把握したか。 2) 自然環境及び景観検討の必要性、範囲、コンセプトを理解し たか。 3) 探検及び景観検討の具体的方法、作成すべき資料等を確認し たか。 	既往資料 " "			
14	積雪寒冷対策	<ul style="list-style-type: none"> 1) 積雪寒冷地適用の要否は確認したか。 	既往資料			

基本条件の照査項目一覧表（様式-1）

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
		2) 雪崩、地吹雪対策の必要性は確認したか。	4			
15	協議関連	1) 関連する道路との交差協議の調整は確認したか。 2) 河川協議との調整は確認したか。 3) 公安協議(事前意見聴取)との調整は確認したか。 4) 地元及び地権者との調整は確認したか。 5) 保安林及び埋蔵文化財等との調整は確認したか。 6) 各種法規制の適用区域及び規制値を確認したか。 7) 都市計画及び土地利用を確認したか。 8) 上位計画、開発行為及び電線類地中化を確認したか。	関連協議資料 " " " " " "			
16	コスト縮減	1) 概略設計・道路予備設計(A)で提案されたコスト縮減方策を確認したか。 2) 機能と工費のバランスからのコスト縮減方策は考えられるか(例えばVEの視点) 3) コスト縮減のための提案を計画したか。	既往資料 " "			
17	成果品	1) 成果品の仕様(電子納品を含む)、部数もついで確認したか。 2) 中間成果品の提出の必要性(時期、内容)について確認したか。	業務計画書 "			
18	その他	1) 業務計画書は発注者の了解を得て提出したか。 2) 受注時のTECRISに関して客先確認を行い登録したか。	業務計画書 登録受領書			

※太字コシツクの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

立体交差予備設計 細部条件の照査項目一覧表 (照査②)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

受注者印	照査技術者	管理技術者
------	-------	-------

立体交差予備設計
細部条件の照査項目一覧表 (様式-2)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
1	幾何構造基準	<ul style="list-style-type: none"> 1) 幾何構造の使用値は適切か。 2) 立体交差流入部の長さ、すり付け長は適切か。 3) 本線及びランプ相互の見通しは確保されているか。 4) 加減速車線の長さは適切か。 	報告書 " " "			
2	縦断設計	<ul style="list-style-type: none"> 1) 設計条件の設定は適切か。 2) コントロールポイントとの整合は適切か。 3) 平面線形との組み合わせは、主要構造物の位置、形式等は適切か。 4) 縦断線形と排水計画との整合は図れているか。 5) ノーズ引出し勾配は適切か。 	報告書 " " " "			
3	横断設計	<ul style="list-style-type: none"> 1) 設計条件(幅員構成、法勾配等)の設定は適切か。 2) 上層線の設定は適切か。 3) 側道、水路等の設定は適切か。 	報告書 " "			
4	土工、法面工設計	<ul style="list-style-type: none"> 1) 法面保護工の工種、勾配等は適切か。 2) 地滑り等の安定解析は必要か。 3) 軟弱地盤対策は適切か。 4) 土工対策に必要な地形地質情報は適切に使用されているか。 	報告書 " " "			
5	道路付帯構造物設計	<ul style="list-style-type: none"> 1) 現場条件・設計条件の設定は適切か。 2) 構造物の設定は適切か。 3) プレキャスト製品の適用は適切か。 	報告書 " "			
6	小構造物設計	<ul style="list-style-type: none"> 1) 設計条件の設定は適切か。 2) 標準設計の適用方法は適切か。 3) 重方式擁壁、ブロック積等を設ける理由、形式高さ等の決定根拠は適切か。 4) プレキャスト製品の適用は適切か。 	報告書 " " "			
7	用排水設計	<ul style="list-style-type: none"> 1) 用排水系統は適切か。 2) 流出量の算出は妥当か。 3) 通水量の算定は妥当か。 4) 用排水構造物の選定は適切か。 	報告書 " " "			

立体交差予備設計

細部条件の照査項目一覧表（様式-2）

NO	項目	主 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
8	舗装工		報告書			
9	環境及び景観検討	1) 舗装種別及び構造の適用（交通量、設計CBR、設計期間等）が記載されているか。 2) 生活環境（騒音、振動、日照等）への対応は適切か。 3) 自然環境（生態系等）への配慮は適切か。 4) 景観（植栽等）性は適切か。	報告書 " "			
10	施工計画	1) 工期分けは適切か。（暫定施工、段階施工を含む） 2) 暫定施工、段階施工の考え方は適切か。	報告書 "			
11	関連協議	1) 関連協議による諸条件を確認したか。 2) 必要な関連協議は終了しているか。	報告書 "			
12	コスト縮減	1) コスト縮減方策を検討しているか。 2) 新技術の導入について検討しているか。	報告書 "			
13	その他	1) 変更契約に伴う、TECRISの登録は必要か。 2) 変更契約に伴う、変更業務計画書は提出してあるか。	登録受領書 変更業務計画書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

立体交差予備設計 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： _____平成____年____月____日

受注者印	照査技術者	管理技術者

立体交差予備設計
成果品の照査項目一覧表（様式ー3）

NO	項目日	主 な 内 容	提示資料	照 査 ③		備 考
				対 象	照 査	
1	報告書	<ol style="list-style-type: none"> 1) 打合せ事項は反映されているか。 2) 設計条件の考え方が整合しているか。 3) 各種検討の経緯と結果が反映されているか。 4) 関連協議資料がまとまっているか。 5) 設計基準値を技術指針等より引用している場合には、出典図書およびページを明記しているか。 6) 用排水の流出量と通水量を照査したか。 7) 今後の課題、留意点は整理されているか。 	報告書 " " " " " " " " " "			
2	設計図	<ol style="list-style-type: none"> 1) 縮尺は設計図書と整合しているか。 2) 打合せ事項は反映されているか。 3) 構造物（函渠、擁壁）等の全体一般図に必要な項目は記載されているか。（設計条件、地質条件） 4) 表現方法は適切か。 5) 解り易い注記がついているか。 6) 設計条件・施工条件が記載されているか。 	設計図書 " " " " " " " " " "			
3	数量計計算書	<ol style="list-style-type: none"> 1) 数量計計算書は数量算出要領及び打合せ事項と整合しているか。（有効数字、位取り、単位、区分等） 2) 数量計算に用いた寸法、記号は図面と一致するか。 3) 工種ごとに数量集計表は添付されているか。 4) 必要な工種が網羅されているか。 	数量計計算書 " " " " " "			
4	用地幅杭調査	<ol style="list-style-type: none"> 1) 調査の記入は適切にされているか。 	用地幅杭調査			
5	成果品	<ol style="list-style-type: none"> 1) 必要な成果品仕様（電子納品等）、部数はあるか。 2) コスト縮減留意書、リサイクル計画書を作成したか。 	成果品 報告書			
6	その他	<ol style="list-style-type: none"> 1) 担当業課と調整されているか 2) 関係機関との協議用資料は作成したか。 3) 業務完了時のTEGRISに関して客先確認を行い登録したか。 	協議用資料 協議用資料 登録受領書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

山岳トンネル詳細設計 基本条件の照査項目一覧表 (照査①)

業務名： _____
発注者名： _____
受注者名： _____
照査の日付： 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

山岳トンネル詳細設計
基本条件の照査項目一覧表（様式-1）

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
1	設計の目的、主旨	<p>1) 目的・主旨を理解したか。</p> <p>2) 地域構想等に関する上位計画を把握したか。</p> <p>3) 設計の主な項目、工程などについて具体的方針を把握したか。</p>	業務計画書			
2	貸与資料の確認	<p>1) 貸与資料の不足点、追加事項があるか。</p>	追加資料リスト			
3	現地踏査	<p>1) 地形、地質、現地状況を把握したか。</p> <p>2) 隣接既設構造物を把握したか。(鉄道、道路、河川、水路、送電線鉄塔等)</p> <p>3) 気象条件を把握したか。</p> <p>4) 水源地の有無を確認したか。</p> <p>5) 坑口の太陽光の入射方向を把握したか。</p> <p>6) 環境状況を把握したか(公園、砂防指定、保安林、文化財、学校、病院、地下水の状況等)</p> <p>7) 支障物件の状況を把握したか。</p> <p>8) 施工計画の条件を把握したか(工事用水、濁水処理、工事用電力、工事用建物敷地、進入路等)</p>	現地写真他			
4	設計基本条件	<p>1) 設計条件は適正か(道路規格、設計速度、設計交通量、幅員構成等)</p> <p>2) 地山区分は適正か(岩種、弾性波速度値、地山強度比ボーリングコアの状況等)</p> <p>3) 断面の基本型は適正か(内空幅・内空形状・内空縦横比)</p> <p>4) 内空断面は妥当か(建築限界、換気施設、照明施設、非常用施設、内装、施工誤差余裕等)</p> <p>5) 掘削方式は妥当か。</p> <p>6) 掘削工法は妥当か。</p> <p>7) 坑内運搬方式は妥当か。</p> <p>8) 標準パターンへの適用は妥当か、また特殊パターンは必要か。</p> <p>9) 換気方式及び規模は適正か。</p> <p>10) 坑門工の形式、位置は適正か。</p> <p>11) 坑門工の荷重条件は適正か。</p> <p>12) 照明施設、受電設備など電気設備設計は適正か。</p> <p>13) 非常用設備の計画は適正か。(通報、警報設備、消火設備、非難誘導設備等)</p> <p>14) 水源は確保されているか</p>	基本条件検討書			
			基本条件検討書			

基本条件の照査項目一覧表（様式-1）

NO	項目	主な内容	提示資料	照査①		備考
				対象	照査	
		<p>15) 施工条件の基本は確認したか。(工程、施工ヤード、ズリ運搬及び処理方式、受電点、給排水等)</p> <p>16) トンネル特殊条件の基本は確認したか。(地すべり、地下水、湧水、偏圧、偏圧、未固結層、膨張性地山、ガス等)</p> <p>17) ズリの処理方法は妥当か。</p> <p>18) 使用すべき設計基準は把握したか。</p> <p>19) 関連する設計との整合はとれているか。</p> <p>20) 坑口の太陽光（西日等）の対策は必要か。</p>				
5	幾何構造・線形条件	<p>1) 幅員構成、幅員変化、平面線形は適正か。</p> <p>2) 縦断線形は適正か。</p> <p>3) 座標系と基準点は適正か。</p>	基本条件検討書			
6	交差条件	<p>1) 隣接既設構造物等との離隔及び対応方法を検討したか。</p> <p>2) 交差協議に関わる協議資料作成の種類と内容を確認したか。</p>	基本条件検討書			
7	坑口部地盤条件	<p>1) 坑口周辺の地形・地質の状況を把握したか。</p> <p>2) 土質定数の設定は妥当か。</p> <p>3) 支持力、地盤ベネ値の設定は妥当か。</p> <p>4) 特殊条件（地すべり、偏圧、支持力不足等）の設定は妥当か。</p> <p>5) 地下水位の評価は妥当か。</p>	基本条件検討書			
8	地形条件	<p>1) 用地幅を確認したか。</p> <p>2) 施工ヤードを確認したか。</p>				
9	使用材料	<p>1) 使用材料と規格、許容応力度は妥当か。</p>				
10	環境及び景観検討	<p>1) 景観検討の必要性、デザインコンセプト、範囲などが理解されたか。</p> <p>2) 景観検討の具体的方法、作成すべき資料などが明らかになっているか。(CG、フォトモンタージュ、透視図等)</p>	基本条件検討書			

基本条件の照査項目一覧表（様式-1）

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ①		備 考
				対 象	照 査	
11	コスト削減	1) 予備設計で提案されたコスト削減設計留意書を確認したか。 2) 機能と工費のバランスからのコスト削減方策は考えられるか (例えばVEの視点) 3) コスト削減のための提案を計画したか。	既往資料 " "			
12	建設副産物対策	1) 予備設計で作成されたリサイクル計画を確認したか。				

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

山岳トンネル詳細設計
条件の照査項目一覧表
(照査②)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 年 月 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

山岳トンネル詳細設計
基本条件の照査項目一覧表(様式-2)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
1	本体工	<p>1) 内空断面の設定は妥当か</p> <p>2) 標準支保パターンの適用は妥当か (吹付けコンクリート厚、ロックボルト長・本数、鋼アーチ支保工寸法、覆工厚)</p> <p>3) 特殊断面 (小断面、大断面、特殊地山における断面等) の支保パターンの適用は妥当か。</p> <p>4) 補助工法及びトンネル特殊条件の対策は妥当か。</p> <p>5) 坑口部の設定範囲 (延長)、支保パターン、補助対策工等が妥当か</p> <p>6) 非常駐車帯部等の配置、形状、断面変化に対する設計は妥当か。</p> <p>7) 掘削方法、掘削工法、坑内運搬方式は妥当か。</p>	一般図及び設計条件検討書			
2	坑門工及び明り巻き	<p>1) 坑門周辺の法面処理は妥当か</p> <p>2) 一般部との整合性は妥当か</p> <p>3) 形状寸法は妥当か</p> <p>4) 構造モデル及び荷重条件は妥当か</p> <p>5) 計算手法は妥当か</p> <p>6) 材料の品質区分は妥当か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート ・鉄筋 等 <p>7) 構造細目は妥当か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄筋の被り ・鉄筋のピッチ 等 <p>8) 本体工との連結は妥当か</p>	一般図及び設計条件検討書			
3	防水工・排水工	<p>1) 防水工が妥当か</p> <p>2) 裏面排水工が妥当か</p> <p>3) 横断排水工が妥当か</p> <p>4) 中央排水工が妥当か</p> <p>5) 坑内の排水処理の接続は妥当か</p> <p>6) 集水柵間隔が妥当か</p> <p>7) プレキャスト化、二次製品化の使用など配慮しているか</p> <p>8) 排水流末処理は妥当か</p> <p>9) トンネル洗浄水の処理対策は妥当か</p>	一般図及び設計条件検討書			

基本条件の照査項目一覧表（様式-2）

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ②		備 考
				対 象	照 査	
		10) 坑外の排水処理の接続は妥当か				
4	舗装工	1) 舗装厚が妥当か 2) 目地間隔は妥当か 3) 材料の品質区分は妥当か	一般図及び設計条件検討書			
5	非常用施設	1) 非常用施設配置は妥当か 2) 箱抜の位置、サイズ、補強は妥当か 3) トラフ寸法は、給水管、ケーブルの点検収納が可能な寸法、構造となっているか。 4) 電気設備設置計画との調整がとれているか	一般図及び設計条件検討書			
6	仮設備計画	1) 施工ヤードの位置及び配置計画は妥当か 2) 工区割は妥当か 3) 坑外仮設備計画は妥当か 4) 給気・換気設備計画は妥当か 5) 工事用電力の確保及び受電位置は妥当か 6) 給水設備計画は妥当か 7) 環境対策(汚泥水処理設備、騒音・振動対策 等)は考慮されているか 8) 仮設構造物（上留工・仮設橋、仮設ステージー 等）の計算手法は妥当か 9) 施工中の計測計画は妥当か 10) 坑口部仮設数量は妥当か	一般図及び設計条件検討書			
7	コスト縮減	1) 予備設計で提案された、コスト縮減設計留意書について、検討したか				
8	建設副産物対策	1) 建設副産物の処理方法は適正か。リサイクル計画書を考慮したか。				

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。

山岳トンネル詳細設計 成果品の照査項目一覧表 (照査③)

業務名： _____

発注者名： _____

受注者名： _____

照査の日付： 平成 年 月 日

受注者印	照査技術者	管理技術者

山岳トンネル詳細設計
成果品の照査項目一覧表(様式-3)

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ③		備 考
				対 象	照 査	
1	設計計算書	<p>1) 打合せ事項は反映しているか 2) 許容応力度の取り方は正しいか 3) 安定計算結果は許容値を満たすか 4) 施工を配慮した計算となっているか</p>	設計計算書			
2	設計図	<p>1) 尺度は共通仕様書と整合しているか 2) 打合せ事項は反映しているか 3) 設計計算書の結果が正しく図面に反映されているか 4) 各設計図が互いに整合しているか 5) 構造図の基本寸法、高さ関係は照合されているか 6) 主筋の配置、鉄筋径、ピッチ、使用材料は計算書と一致しているか、また鉄筋の最大定尺長及び継手(圧接、重ね継手)は適正か 7) 構造詳細は適用基準及び打合せ事項と整合するか 8) 取り合い部の構造寸法は適正か 9) 分かり易い注記がついているか</p>	設計図			
3	数量計算書	<p>1) 数量計算は適用基準及び打合せ事項と整合しているか。(有効数字、位取り、単位、区分・・・) 2) 数量計算に用いた寸法は図面と一致するか 3) 数量とりまとめは、種類ごとに材料ごとに打合せ区分に合わせてまとめられているか</p>	数量計算書			
4	施工設備計画	<p>1) 施工法が妥当であるか(掘削方式、掘削工法、坑内運搬方式等) 2) 工所用設備計画は妥当か(工事中の換気、給気、給水、排水、濁水処理、工所用電力等) 3) 安全確保が配慮されているか 4) 関係法令を遵守した計画になっているか</p>	施工設備計画書			
5	設計調査	<p>1) 調査の記入には適正にされているか 2) マクロ的に見て問題ないか(幾何構造、主要寸法、主要数値)</p>	設計調査			
6	報告書	<p>1) 条件設定の考え方が整合しているか 2) 比較・検討の結果が整合しているか 3) 設計思想の設定と考え方が妥当であるか 4) 今後の課題、施工上の留意点等は整理されているか</p>	設計報告書			

成果品の照査項目一覧表（様式-3）

NO	項目	主 な 内 容	提示資料	照 査 ③		備 考
				対 象	照 査	
7	建設副産物対策	1) リサイクル計画書を作成しているか	リサイクル計画書			
8	その他	1) 担当事業課と調整されているか 2) 関係機関との協議用資料は作成したか。 3) 業務完了時のTECRISに関して客先確認を行い登録したか。	協議用資料 協議用資料 登録受領書			

※太字ゴシックの項目は、発注者側においても特に留意が必要な項目を示す。